

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2015年1月1日～2019年4月30日までに当院でラムシルマブ+パクリタキセル療法を行った患者さんのうち、一次治療でシスプラチンもしくはオキサリプラチンを含むレジメンで化学療法を行った患者さん。			
②研究課題名	プラチナ製剤の末梢神経障害が胃がんの二次化学療法へ与える影響			
③実施予定期間	承認日 ～ 2023 年 3 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	古田光寛	所属	静岡がんセンター 消化器内科
⑥当院の研究代表者	氏名	古田光寛	所属	静岡がんセンター 消化器内科
⑦使用する検体・データ	診療録			
⑧目的	切除不能・再発胃がんに対する化学療法の一次治療で使用されるプラチナ製剤は末梢神経障害を引き起こしますが、二次化学療法で用いられるパクリタキセルも同様に末梢神経障害を引き起こします。しかしながら、一次治療での生じた末梢神経障害が二次治療へ与える影響は明らかではありません。一次治療で生じた末梢神経障害による二次治療への影響を明らかにすることで、末梢神経障害が生じた患者の二次治療のレジメン選択の際に有益な情報となります。			
⑨方法	対象患者さんの背景、治療内容、治療効果、副作用、及び生存期間について診療録より医師が調査を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2020 年 3 月 16 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長